

# 新年を 迎えて

明けましておめでとございませう。

市民の皆さまにおかれましては、新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、市政の推進に深いご理解と温かいご支援をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、昨年5月に待望の新庁舎が開庁いたしました。大きな喜びであるとともに、これからのまちづくり、そして、未来に向けた大きな節目になったものと考えております。

新庁舎には、子育て支援の拠点となる、地域子育て支援センターあいあいも併設しております。連日、子どもたちの元気な声が響き渡り、笑顔があふれております。

少子高齢化の影響により、緩やかではありますが人口減少が進んでおります。そのため、定住人口の増加や地域経済の活性化などを重点課題として、市政運営を進めてまいりま

した。

定住人口の増加に向けては、シテイセールの推進や子育て支援、教育環境の充実、ファーストマイホーム支援事業などに取り組んでまいりました。近年は、転入者の数が転出者を上回るなど、着実に効果が表れているところであります。

地域経済の活性化につきましては、北広島輪厚工業団地への企業進出が順調に進み、販売面積は全体の約95%となっております。今後も、早期完売に向けて積極的な誘致活動を進めてまいります。

JR北広島駅東側には、「白い恋人」で有名な石屋製菓株式会社が新工場を竣工し、操業を開始しております。こうした企業の進出は、雇用の確保や地域経済の活性化に寄与してくれるものと期待しているところであります。

現在、北海道日本ハムファイター

ズボールパーク誘致活動を進めております。

ボールパーク構想は、北海道の新たなランドマークを創造するものであります。当市においても、市民の皆さまや未来を担う子どもたちに夢と希望を与えるとともに、まちづくりに大きく寄与するものと考えております。

これからも、皆さまと一丸となって活動を進めてまいります。

本年4月から、小・中学校9年間を見通した小中一貫教育が全市一斉にスタートいたします。学校、家庭、地域が一体となって、子どもの連続した学びを支える体制をつくり、生きる力を育む教育環境を展開してまいります。

当市には、利便性の高い都市機能、豊かな自然、優れた人材、魅力ある観光資源、そして、これまでに培われた歴史的・文化的資源など、多様

な魅力と資源があります。これら全てを最大限に生かし、当市のまちづくり、地域づくりにつなげてまいります。

市民の皆さまが将来にわたって安心して暮らし続けられるまち、笑顔あふれるまち、着実に成長するまちを目指して、さまざまな施策に全力で取り組んでまいります。

本年が、市民の皆さまにとりまして、明るく幸せな一年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のあいさついたします。

北広島市長

上野 正三

